



特集

ヤマハで身につく、
こんないいところ、
あんないいこと。

— くっつい
はなれない!!

vol.
23

ヤマハ音楽教室幼児科
保護者向け情報誌

MESSAGE

FROM

PURATOMO



ヤマハ音楽教室の願い

お子さんに音楽を習わせるきっかけは
そのご家庭によっていろいろだと思います。

ヤマハ音楽教室では、

「気持ちを音楽で表現できるようになること」を
目指しています。

からだところろの成長はリンクしていて

4歳から5歳は、音楽を聴き取り、

記憶する力が発達する大事な時期。

それにともなって感情や感性もぐんぐん伸びていきます。

この時期に音楽を楽しみ、音楽で表現できる力を

一人ひとりの子どもたちに育んでほしい、

そうヤマハ音楽教室は願っています。

ぶらトモってなあに？

みなさん、こんにちは。「ぶらトモ」は幼児科のお母さんお父さんたちと身近になりたい、仲よくなりたいという想いで2014年に発行されました。「『ぶらいまり』のともだち」だから略して「ぶらトモ」です。よろしくお願いします！



数学は、音楽と同じ。
楽しい理由は一緒です

PRIMARY

FRIENDS

OB&OG

INTERVIEW

ヤマハ音楽教室

OB&OGインタビュー

中島さち子さん

ジャズピアニスト・数学研究者

作曲も数学も、
考えることが好き

4歳から中学2年生までヤマ
ハに通っていたという中島さち
子さん。最初は大阪の教室に通
い、関東へ引っ越してきた後は、
ジュニア専門コースへ。

その後、作曲やエレクトーン
のレッスンを含め、週3〜4日
ヤマハに通っていたそう。

「あまり誰にも『練習しなさい』
と言われることがなく、自由に
作曲をしたり、弾いたり。自分
の曲をみんなでアレンジをして
アンサンブルをしたり、本当に

楽しかった思い出ばかりです」。
中学に入って、ラヴェルやバ
ルトークなどを学び、作曲が
面白くなってきたそうですが、
「逆に自分が作る曲がどれも似
てきて。何か限界を感じたのか
もしれません。そこで、ヤマハ
はやめてしまいました」。

そして、時間に余裕のできた
中島さんは、数学に出会います。
「作曲もそうですが、もともと
『考える』ことが好きで。数学
も、受験やテスト用の勉強では
ない、考える問題としての面白
さに魅力を感じました」。

中学3年生の時に、「大学へ



SACHIKO NAKAJIMA

*

ジャズピアニスト／数学研究者。
1979年生まれ。大阪府出身。フェリス学院高等学校2年生のときに国際数学オリンピック(インド大会)にて日本人女性初で唯一の金メダルを獲得。東京大学理学部卒業後、音楽の道へ。2010年頃より数学研究を再開。現在は、演奏・作曲・数学研究の他、数学と音楽をかけあわせたイベントなども企画、実施。2018年よりフルブライト奨学生としてニューヨークに渡り、ニューヨーク大学にてアートとテクノロジーの融合についての研究を深めている。一児の母。

の『数学』という雑誌で、『ピーター・フランクルさんが1カ月に1問だけ問題を出すという連載があり』『1カ月間、その問題のことはばかり考えて、そこで数学の魅力に目覚めました』。

数学は、芸術と同じ。
音楽と共通するものがある

数学というと、苦手意識を持つ人も多そうですが、「数学は、本当はアートや芸術に近いものがある」とも語ります。

「数学は答えが1つなのがいいという人がいますが、私は逆です。答えが1つじゃないから面白い。世界をどう見るか。数学を通して物事を見つめると、視点がとても自由になるのです」。

例えば10という数字も、1が10個なのか、2が5個なのか、20の2分の1と考えるのかで、考え方が広がります。

ました」とか。

大学でジャズに出会い
数学と音楽を並行

ヤマハをやめてからは、「たまに煮詰まったら自宅で即興を弾いたり、学校で伴奏でピアノを弾くくらい」だったそう。

それが高校3年生の時、音楽の授業で管弦楽部の子たちと組み、クリスマス曲のメドレーを発表したのをきっかけに、大学入学後は、音楽サークルに入り、再び音楽にもめり込みます。

中でも、特にジャズは、「弾き手と聴き手から生まれる化学反応が面白い」と、2年生からは、ジャズ専門のサークルにも。昼間は数学、夜はジャズという学生時代を過ごし、卒業後は大学院で数学を研究する道と迷いながらも音楽の道へ。

同時に、現代数学の面白さを

「答えは1つでも、そこに行くまでの解法には、答える人の個性が出ます。全然違うようなアイデアを絡めたら一瞬で解ける美しい解き方もありますが、回り道にしても、それが新しい考え方のヒントになったり。同じりんごを描いても十人十色のように、私にとっては、数学も、芸術に近い感覚なんです」。

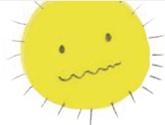
また、数学は解けた瞬間も面白いですが、考えたり分析したりする過程や失敗も面白いそう。「作曲も、ひらめきで曲が生まれるときもありますが、スランブになることも。でも試行錯誤をすることで、自分の感覚が新しく磨かれて答えが出ます。そこが数学と似ています」。

中高時代はバリバリの理系かと思いきや、「本を読んだり、考えたりするのが好きなので、周りからは文系だと思われてい

子どもたちに伝える学びの場で、講師をするなど、常に数学にも触れる生活はしていたそう。

そのまま10年ほど音楽活動を続けていましたが、娘さんが生まれた10年くらい前から、自身が楽しみたいのも、社会に「自分の好き」を何かの形で還元したい、と考えるように。

現在はそのためにも、ニューヨーク大学のアートスクールに留学し、音楽とテクノロジーの融合について学びつつ、「もっと音楽と数学が近いことをみなさんに知ってもらいたい」と世界各地で数学と音楽を絡めたワークショップなども行っています。保護者には「一見遠回りに見えることでも、『好き』がかけ算のようにつながり、人生が豊かになることも。今を一緒にお子さんと『ワクワク』を楽しんでください」とメッセージを。



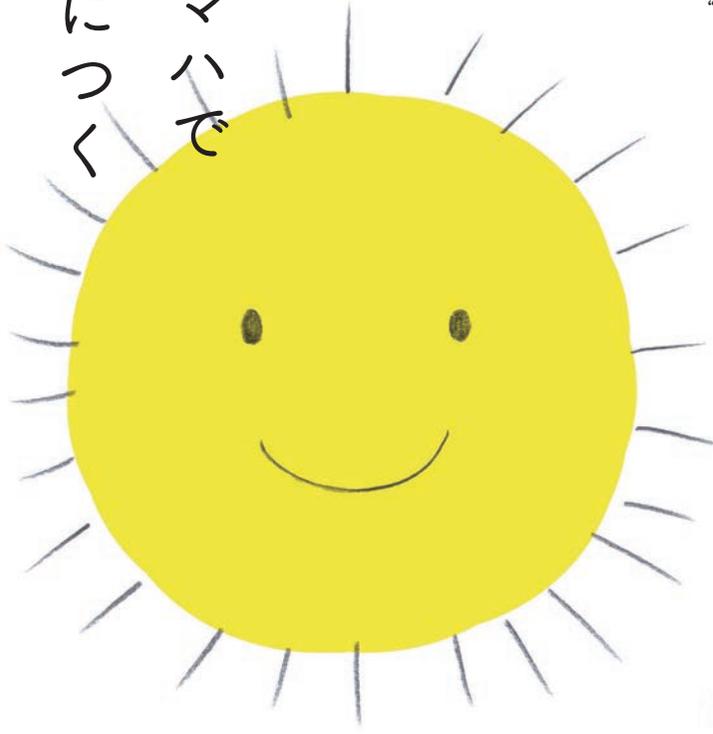
“リズム感”



“あきらめない力”



“やり抜く力”



“表現力”



ADVICE
様子をよく見て
力を伸ばしてあげて



東大名誉教授
家族・保育デザイン研究所代表理事
汐見稔幸先生

特集
ヤマハで
身につく

こんないいこと、

あんないいこと。

ヤマハ音楽教室は、音楽の力をつける以外にも
いろいろな力が身につきます。

幼児科でどんな力がついたのか、
小学生から社会人までの

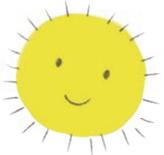
O B O G に、インタビューを行いました！



“作曲の力”



“継続の力”



“集中力”



“緊張しない力”

ADVICE
「頑張る力」をはじめ
身につく力はたくさん！



ヤマハ目黒センター
大前直子先生

一番は「頑張る力」が身につくこと。これは、親や友だちと一緒に頑張れるのだと思います。そして、難しい曲が弾けるようになるという体験を重ねることで、自己肯定感が高まり、さまざまな壁を乗り越えられる子どもになります。

また、練習を通じて「忍耐」や「集中力」も養われますし、発表会などの本番で、緊張しながらパフォーマンスすることで「精神力」も培われます。小学生になると、リーダーシップをとれる子が多いのは、グループレッスンを通じて、協調性が身につくからだと思います。

習い事を通じて身につく力は、親の接し方次第。「この子はどうしたら伸びるんだろう」という視点をもつことが大事です。

この時期は自我が芽生える時期。「自分でやりたい。でも、失敗するかも」という葛藤が生まれますが、失敗しても大丈夫だということがわかれば、挑戦し続ける力につながります。習い事も、習う理由や「あの曲を弾きたい」といった身近な目標を持つようになります。大人は、そんな子どもの心に寄り添って、その子の頑張りを認めながら共感してあげる必要があります。



大勢の人の前でも
あまり緊張せずに
発表ができるように

スガナミ楽器（東京）・ジュニア専門コース 村瀬萬紀さん（小4）…将来の夢は、「ピアニスト兼作曲家兼指揮者兼バイオリニスト兼大工兼バスケット選手！」。

「とにかく音楽、特に作曲が大好き！」で、幼児科からJ専へ。

「今は、学校の宿題などの両立が大変なときも。ヤマハの宿題はレッスンの日にやっつけてしまおうようにしています」。



普段から、曲を作ったりするのが習慣化しているのは、「幼児科からの積み重ねがあるから」とはお母様より。自作曲が「こども定期演奏会」のオープニング曲に選出されたことも。「学校では6年生を送る会で歌う曲の作詞作曲をしたり。みんなの前で弾く時は、ドキドキしますが、コンクールに出ているので、あまり緊張せずに演奏することができています」。

写真／（上）発表会。下）ヤマハ「ぼくのうた、わたしのうた」に応募時の映像から。3年連続金賞を受賞。

OBOGに
聞きました

こんないいことが
身についた！

音程、リズム感など舞台上
必要な力に役に立っています

ジュエリーキッズプロモーション所属 大前優樹さん（小5）…舞台上で活躍中。この夏公開のミュージカル「スクール オブ ロック」にも出演予定。



「幼科から小3までJ専に。「歌うのも作曲も大好きで、発表会も楽しかった」それで、3歳上のお姉ちゃんと一緒に「ぼくのうたわたしのうた」にも応募。金賞を受賞しました。小2のときに、歌舞伎のオーディションに合格し、以後は舞台上に多数出演。オーディションでは自作の曲を発表することも。「すぐに音やリズムがとれたり、どんなときでも音程がぶれないのは、ヤマハで先生とうたった和音がずっと耳や頭に残っているからだと思います」。

将来の夢はパイロットでしたが、「最近、舞台もいいなとも思うようになりました」。

写真／（上）小1のときのヤマハの発表会で。（下）この夏、自身も出演する作品のロンドン公演を観に行ったときのもの。

幼

児科時代は、幼稚園のマーチングバンドにも参加し、どんどん音楽が大好きに。幼児科からJ専に進み、今は個人レッスンを受けていますが、「小学校では、学年の歌や卒業式のための歌を作りました。最後まで投げださずに頑張れたことは、貴重な経験になりました」。

ヤマハは、発表会やグレードなどの目標が常にあり、そのたびに「達成感が得られました」とも。

お母様によれば、小学校でのアンケートでは、自己肯定感が「最高値」という診断だったそう。で、「担任の先生には、『その自信を裏付けることのできる努力をしてきたからですね』と言われました」

写真／（上）自身の卒業式で自作の曲の伴奏を。（下）小学校時代の発表会。



学校の先生も驚き！
やり抜く力と自己肯定感



フレンド楽器（神奈川）個人レッスン 蔵田暖陽さん（中1）…ヤマハには2歳から。目標は、ショパンの『革命のエチュード』。

音

集中力やリズム感が
陸上で走るときにも
生かされています

楽に反応する子どもで、自分から「通いたい」と、ヤマハの幼児科へ。中学3年生までエレクトーンを習っていたそう。

小中学校時代は、部活優先の生活でしたが、「音符を読めるようになってから、音符が読めるようになり、楽器が弾けるようになっていったのは、自分が『成長している』という実感があって、とても楽しかったです」。

グループで出演した発表会では「協調性や、プレッシャーに負け

ない集中力が培われた」とも。

陸上で、一定のリズムのペースで走るときには、「エレクトーンで学んだことが、すごく役に立っていると思います」。

宮崎佑喜さん（日本大学3年）…2019年、2020年と2年連続箱根駅伝走者に選出。中学時代は1500mで2度日本一の経験も。



写真／（上）2020年の箱根駅伝にて。（下）野球部のユニフォーム姿で演奏を。



3

才児向けのクラスから
 幼児科へ。大学3年生
 までピアノを習っていたそう。
 「あまり練習熱心な生徒ではな
 かったのですが、弾くことが好
 きで続けてきました。1つのこ
 とを長く続けたことは、大きな
 自信になっていると思います」。
 大学時代には、幼稚園教諭の
 資格も取得しました。

「ピアノを弾かねばならない実
 習もあるので、習っていてよ
 かったと思いました」。

大学院を卒業後、絵本作家と
 してデビューしましたが、「作
 品づくりのヒントは、旅行や写
 真、お散歩中の風景や、ふと流
 れてきた音楽から得ることもあ
 ります」。

写真／(上)2018年に開催
 した自身の個展にて。(下)レンス
 ン会場で。



1つのことを長く続けた という達成感が自信に

絵本作家 木戸まやさん…2017年に『イヌのクニヤン』で作家
 デビュー。昨年の「第10回あたらしい創作絵本大賞」も受賞。



幼

児科からエレクトロニ
 のグループ、個人と大
 学院を卒業するまでレッスンを
 続けました。

「個人のおきに出た発表会では、
 大人のグループに混ぜてもらっ
 たり。学校とは違う仲間ができ
 たことも良かったです」。

グループレッスンの時代は、「コ
 ンクールなどの目標に向けて、
 難しい曲でもあきらめず頑張っ
 た記憶があります」。

そのとき身についた「あきら
 めずに頑張れる力」が、その後



「あきらめない力」が 小児科医になる夢の 実現にも一役



にも役に立ったそう。
 「どうしても小児科医になる夢
 があきらめられず、大学院を卒
 業した後、医学部に入り直して
 夢をかなえました」。

写真／(上)幼児科の頃。(下)個人のおきに混ぜて
 もらった大人のグループの皆さんと数年前に再開。



小児科医師 小野安希さん…工学部の大学院を卒
 業後に、医学部に編入して
 医師に。現在は二児の母。

和楽器の演奏や 作曲でも、育った力が 役立っています

和太鼓奏者・和太鼓彩メ
 ンバー 齋英俊さん…高2ま
 でヤマハに。高校から和太
 鼓を始め、昨年のラグビーワ
 ールドカップでも演奏を。



姉
 の影響で幼児科へ。中
 高は男子校だったのも
 あり、ずっと合唱コンクールも
 伴奏などもしていたそう。
 「音楽も好きでしたが、運動も
 大好き。和太鼓は、運動と音楽
 が融合していて、高校の部活で
 はまり、今では職業になりました
 た(笑)」。

自分たちが演
 奏する曲の作曲
 も担当しており、
 その際には、鍵
 盤楽器を使って
 行うそう。

「作曲の知識はもちろんですが、
 和楽器の音階は、元々はドレミ
 ファソラシドではないので、洋
 の音階と調整する必要がありま
 す。そういうときには、ヤマハ
 で育った『耳』の力がとても役
 に立っていると感じます」。

写真／(上)ヤマハ時代の発表会(左から2番目)。
 (下)彩の演奏会にて。

宝塚でのピアノや歌の レッスンでは培った力がベースに

元宝塚歌劇団・月組 Alisaさん…高2から宝塚へ。陽海ありさ
 として活躍後、2019年に退団。今後はAlisaとして活動予定。



写真／(上)小学校
 4年生のときのもの。
 (下)退団公演の干
 秋祭の日に。

「一人
 見知りや何かした
 い」とお母様がヤマハ
 の幼児科へ。その後、グルー
 個人と宝塚に進む高2までヤマ
 ハを続けました。
 「自宅で練習することよりも、
 とにかく、発表会が大好きだっ
 たのを覚えています」。
 それを見ていたお母様やヤマ
 ハの先生など周囲のすすめも
 あって、宝塚の道へ。
 「宝塚では、ピアノや歌のレッ
 スンがあります。弾けるのはも
 ちろんですが、表現豊かに歌う、
 という点でも、ヤマハをやっ
 いてよかったという場面が何度
 もありました」。
 今後も、ずっと「表現するこ
 と」に関わっていききたいそう。





THE WORLD OF
CHILDREN'S SONGS

"はるのおがわ"

ILLUSTRATED
BY
AKIKO MIYAKOSHI

SCORE

"はるのおがわ"

作詞：高野辰之
作曲：岡野貞一
編曲：清澤久恵

※メロディーパートは、1オクターブ^{うえ}上で弾きましょう。

♩=102

メロディー

伴奏

The musical score is written in 4/4 time with a tempo of 102. It consists of a melody line and an accompaniment line. The melody line starts with a treble clef and a key signature of one flat (B-flat). The accompaniment line starts with a bass clef and a key signature of one flat. The score is divided into four systems. The first system has a tempo marking of ♩=102 and a dynamic marking of mp. The second system has a dynamic marking of mp. The third system has a dynamic marking of mp. The fourth system has a dynamic marking of mp. The score includes various musical notations such as notes, rests, and fingerings. The lyrics are written below the melody line.

HOW TO PLAY
こうやって
遊ぼう！

絵本作家として活躍中の

みやこしあきこさんによる作品です。

"はるのおがわ"をイメージしながら

歌ったり弾いたりしてみましょう。

LYRICS

"はるのおがわ"

はるのおがわは さらさらいくよ
 きしのすみれや れんげのはなに
 すがたやさしく いろうつくしく
 さけよさけよと ささやきながら
 はるのおがわは さらさらいくよ
 えびやめだかや こぶなのむれに
 きょうもいちにち ひなたでおよぎ
 あそべあそべと ささやきながら



PURATOMO SQUARE

ぶらトモひろば



「ぶらトモひろば」では、全国の生徒のみんなや、お母さん・お父さんたちからのすてきなお便りを紹介したりヤマハ音楽教室にまつわる素朴な疑問に一生懸命答えたりするよ。もっとわたしたちのことを知ってほしいから。

Q & A ABOUT YAMAHA

ヤマハ音楽教室
にまつわる
そぼくな疑問



Q. ホームワークは
何のために
あるのでしょうか？

(神奈川県 Amiiさん)

A. レッスンで
学んだことをご家庭で
再確認するための教材です。

ホームワークは、DVD教材とも連動しており、知的理解を助ける上でとても有効です。音符やリズム、楽典について、レッスンを思い出しながらご家庭で取り組むことで、やがては将来の読譜力

田舎なので、日曜日に車で1時間以上かけて通っています。レッスンも楽しんでいますが、先生に報告するのは、いつもその日のレッスン後のランチの予定です(笑)。(鹿児島県 U3さん)



今日のごはん、何食べる？
家で練習する量によって上達度合いが違うのを日々実感しています。前日や当日に長時間練習するより、毎日1回でもピアノを弾いているほうが上達を感じます。子どもたちもそれが分かっていたようで、毎日ピアノにふれるようになりました。(神奈川県 はなはなさん)

日々の積み重ねが大事！



私もヤマハ出身。「だいたスキナパン」がとても印象深く心に残っていました。息子が弾くようになりとても嬉しく思いました。

へと繋がっていきます。また、ご家庭で取り組んだ内容は、先生がレッスンで確認をしていきます。「書く」ことはこのころの子どもたちにとっては想像以上に大変なことです。ぜひお子様の努力を温かく見守ってあげてください。

知識の理解を助けるよ！



Q. 両手奏が、なかなか
うまくなれません。

(福岡県 たつくんさん)

A. まずは片手ずつ
練習をし、ゆっくり両手で
合わせてから、テンポを
上げていきましょう。

最初は片手ずつの練習から始め、楽しく指のウォーミングアップをすることも効果的です。

また私の母も、この曲をよく覚えており、三代で触られることに感慨深いものがあります。(神奈川県 よよままさん)



親子三代で歌えるね！
弾ける曲が増えてくると、練習も楽しいようで、積極的に練習をするようになりました。いろいろな曲が弾けると、本人も親もとても楽しい気持ちになります。(岡山県 ちゅうちゃんさん)



次はどの曲
弾こうかな？
お姉ちゃんが大好きで、何でも一緒にいいという妹。年中になり姉に続きヤマハを習い始めました。時々楽器の取り合いをしますが、仲良く練習している姿にほっこりします。(広島県 どんぐりさん)



練習も一緒に！

その後、うまくいかない部分だけをゆっくり何度も合わせます。弾けるようになったら徐々にテンポを上げて本来のテンポに戻します。一度に最後まで合わせようとせず、「今日はここまでね」と目標を細かく設定し、時間をかけて仕上げていくとよいでしょう。

ゆっくり
じっくり！



ご意見・ご感想
お気軽にお問い合わせください

ヤマハ音楽教室 お客様コミュニケーションセンター

0570-075808

月曜～金曜 9:30～17:30 (祝日・年末年始・夏季休業を除く)

※「ヤマハ音楽教室ホームページ」からもお問い合わせを受け付けています。

INFORMATION

JOCの作品が動画で見られます！

ヤマハ音楽教室に通う15歳以下の生徒が心に感じたことを曲にし、演奏するジュニアオリジナルコンサート(JOC)。毎年生まれる数多くの作品の一部を「JOCレコーディングセレクション」として動画でご紹介しています。子どもたちの作品と演奏をぜひお楽しみください！



みんなの曲
待ってるよ！



MY DEAREST DAD

ぼくの私の
大好き
ファミリー

全国の
ファミリー
募集中！



「ヤマハのCMを見ていたら、楽しそうに反応していたので体験に」。ということで、現在幼児科1年目に在籍中の茨城県在住の埴宗真くん(5歳)とパパの真和さん(41歳)。「音楽を通して、喜怒哀楽などの感情表現が豊かになれば」とも、宗真くんが家で練習しているときは「とにかく本気でほめるようにしています。将来は本人に任せますが、自分の好きな道につき進んでいってほしいですね」。



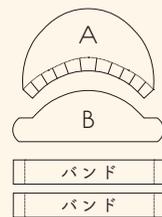
作って
かぶろう！

HAND CRAFT 作ってみよう！

〔第三回〕サンバイザー

今回は、サンバイザー！
輪ゴムを使って
自分の頭のサイズに合わせて調節して！

〈パーツ〉



〈作り方〉



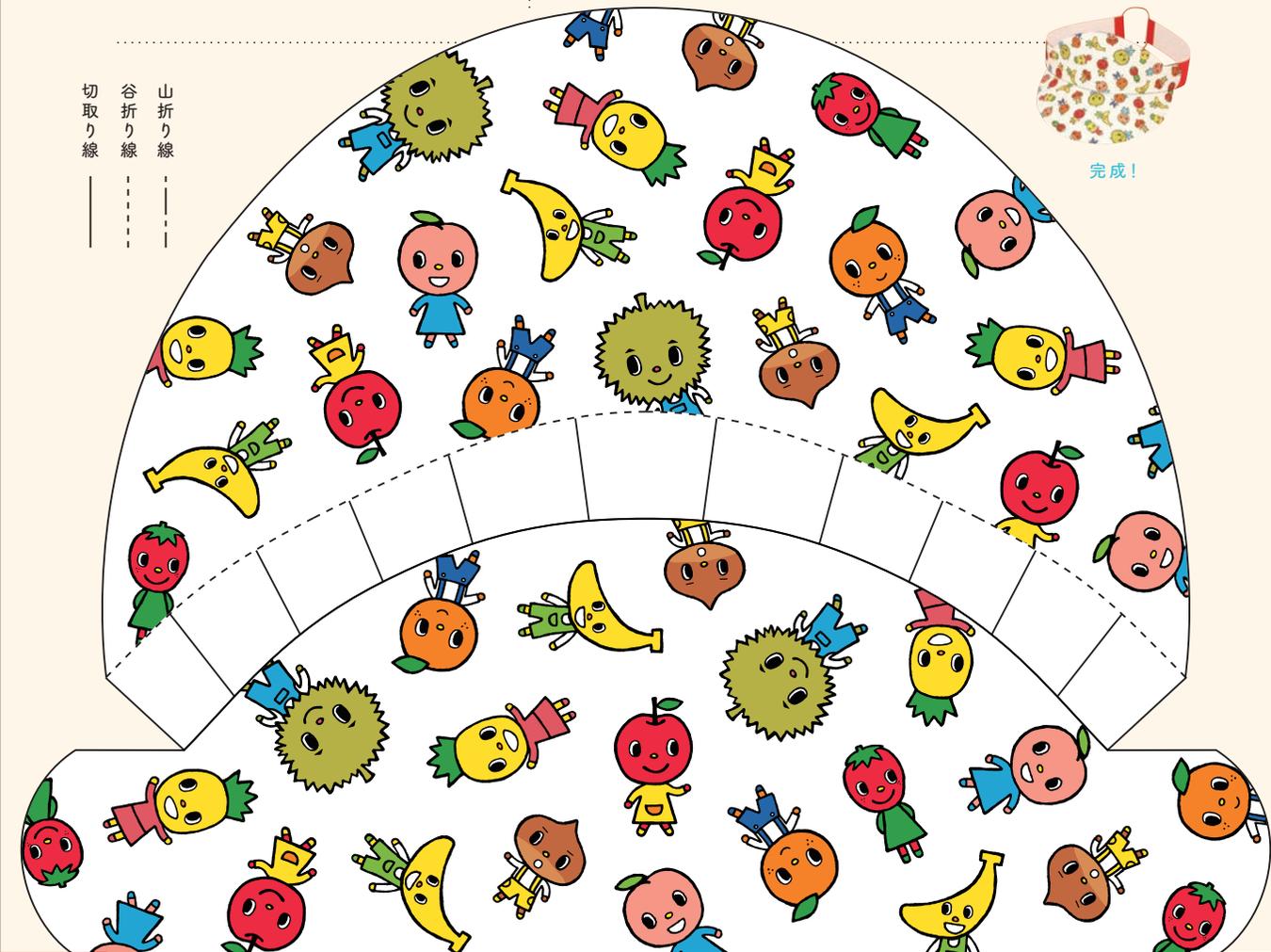
1 AとBとバンドそれぞれ切り離し、のりでAとBとバンドを貼り付けます。

2 バンドの端に輪ゴムをかけて両端をそれぞれのりやホチキスでとめます。



完成！

山折り線
谷折り線
切取り線



のりしろ

のりしろ

ONPYU STORY

おんぴゅだよ

作：やばい



作：やばい

主婦。7歳の男の子のママ。漫画『おんぴゅだよ』(KADOKAWA)が話題に。

全国の
教室を
探訪

SCHOOL MATES

おじゃましました！ 隣のヤマハ音楽教室



ヤマハミュージックリテイリング郡山店 郡山中央センター

福島県郡山市並木3丁目5-1



今回は
福島県！

福島県郡山市は、東北地方では仙台に次ぐ大都市。今回お邪魔したのは、幼児科2年目6名のクラス(前列左は生徒の姉妹)で、担当は、地元出身の菅野杏子先生。「音楽が大好きな、元気いっぱいクラスです」。レッスンでは、楽しくて盛り上がりすぎることもあるので、「静と動のメリハリを持つよう心がけている」そう。その日の生徒一人ひとりとの会話やレッスンの時の様子から、その子のちょっとした成長も見逃さないようにアンテナを張っています。「それぞれの個性を引き出しつつ、力を伸ばしてあげられればと思っています」。



(上)楽器ショールームも併設。
(下)名物のクリームボックス！



TEACHER'S
COMMENT

菅野 杏子先生

自身もヤマハ出身。幼児科から中学生まで学び、音楽をより専門的に勉強したいと、音楽の高校・大学に進学しました。「就職時、自分の原点はヤマハだと思い、憧れだった先生になりました。今後も、音楽の楽しさを子どもたちと共有していきたいです」。

HUMOROUS POEM

おもしろヤマハ川柳

*

テーマ

「子育てあるある」



りんご見て

「ぷっぷるちゃんを

食べないで！」

東京都 杏仁豆腐さん

得意気に

弾いてる姿は

お姉ちゃん

山口県 るりちゃんママさん

忙しい

そんな時こそ

甘える子

愛知県 ななみさん

編集後記

ふきのとうをホイルで包んで焼き、塩をふってたべることを想像すると思わず鼻歌がでそうです。(アートディレクター 寄藤文平) / もうすぐ春ですね! 春と言えば、小学生の頃、山菜を採りに行った地元の北海道の里山で熊の親子を遠くに見つけたことが…。乗ってきた自転車で急いで逃げました。(編集&ライター 長谷川華) / 苦手だった数学から遠ざかること数十年…。中島さち子さんのお話をお聞きして、もしかしたらおもしろいのかも!? と、興味がわきました。久しぶりに数学に挑戦してみるつもりです。(ヤマハ音楽振興会ぶらトモ編集部F)

ぶらトモ Vol.23 2020 春 令和2年3月20日発行 通算23号

撮影: 森安照 (中島さち子さんインタビュー部分)

ヘア&メイク: 榊美奈子 (中島さち子さんインタビュー部分)

工作制作: 丸林佐和子、石川聡 (デザイン)

アートディレクション: 寄藤文平

デザイン: 三浦裕一郎、

周佐直彰、

古屋郁美 (文平銀座)

文: 下関崇子、長谷川華

企画・編集協力: 孫のカククリエイティブ(株式会社トド・プレス)、

長谷川華

印刷: 大日本印刷株式会社

発行所: 一般財団法人ヤマハ音楽振興会

〒153-8666 目黒区下目黒3-24-22 ☎0570-075-808

発行人: 大池真人

次号は
6月発行です



WANTED

『アンケート&お便り』募集!

『ぶらトモ Vol.23』の記事について、みなさんのご感想、ご意見を募集中です。『ぶらトモ』を一緒に作ってくれる「ぶらトモ隊」への応募もこちらから!

1. ヤマハ音楽教室や子育てに関するエピソード
2. ヤマハ音楽教室にまつわるそばかな疑問
3. ぼくの私の大好きファミリー
4. 子育てあるある川柳

を募集しています。

応募は以下のアドレスか QR コードから。

<https://jp.research.net/s/KBFPBST>

(応募は2020年5月末日まで)



抽選で30名様に
「ぷっぷるとおもだち」
レジャーシートをプレゼント



【個人情報について】

いただいたお名前、ご住所、ご連絡先などは、誌面掲載のご連絡やプレゼントのお届けに必要な情報の確認に使用し、その他の目的では使用いたしません。